

自己評価結果公表シート

学校法人西岡学園
西岡ふたば幼稚園

1、本園の教育目標

◆ 教育目標

「ゆたかな ころこ」「たくましい からだ」「ただし かんがえ」

◆ 教育方針

- ・ 何事にも意欲的で自分の個性や創造性を豊かに伸ばしていく子どもの育成
- ・ 健康な体と優しく思いやりのある心を持ち、未来の社会で豊かに生活できる人間となるための育成
- ・ 集団生活の中で合理的な判断と協力を愛し、人との関わりに喜びを見いだし、楽しむことができる人間の育成

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園教育要領を基に幼児実態に合わせた教育課程の再編成をし、教職員全員の共通理解や資質向上に努めるとともに、保護者とのコミュニケーションをはかり、子どもの主体性を大切にする環境を構成する。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通理解をはかる。	自園の教育課程と幼稚園教育要領を照らし合わせ、職員会議や学年会議等で話し合い、共通理解に努めている。
保育の在り方、幼児への対応の具体的な内容について共通理解をはかり、適切な環境を構成する。	実態に合わせた指導計画や発達記録を作成するとともに、子どもの主体性を大切にした適切な環境の構成について職員会議や学年会議等で話し合い、共通理解に努めている。
教育の質の向上のために、園外研修への参加や、園内研修を充実させる。	園内研修、研究を積極的に行い、自園の保育内容を向上させるとともに、園外研修にも積極的に参加し、最新の知識や技術を身につけ、情報交換をしている。
保護者とのコミュニケーションをはかり、共に子どもの育ちに向き合うことができるような信頼関係を構築する。	懇談会や日々の電話連絡等を通してコミュニケーションを図るとともに、アンケートを実施し、ニーズの把握に努めている。意見に対して、必要なものについては園の考え方を示し、改善すべきものは改善するように検討している。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

それぞれの自己評価や話し合いを通して、全教職員が共通理解を図り、本園としての方針を確認することができたと思われる。子どもの主体性を大切にした環境の構成については、今後も日々話し合い課題としていきたい。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理	不審者対策や、安全点検・安全管理を徹底する。
特別支援教育	個別の指導計画の作成や研修会への参加、各関係機関との連携や訪問支援等を通して具体的な支援方法を学び、適切な環境を構成する。
園に対する保護者の満足度の把握	園の方針を理解してもらえるように努力しつつ、保護者が期待する幼稚園像を把握し、本園のビジョン策定の基礎とする。